



# 医業 経営情報 レポート

Available Information Report for Corporate Management

## 平成 24 年決算データからみる 診療所の 経営実績報告

- ① 平成 24 年 医療法人経営データ分析
- ② 平成 24 年 優良法人の経営実態
- ③ 平成 24 年 診療所経営指標分析

# 1 ・ 平成 24 年 医療法人経営データ分析

\*分析母体：医療法人立の無床診療所 147 件を分母とした。

\*医業収入他主要勘定科目の 1 診療所平均を算出、前年比較により参考データとする。

## ■平成 24 年 比較要約変動損益計算書 (単位：千円)

	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
I 医業収入	123,230	128,338	104.1
1. 保険診療	110,288	114,512	103.8
2. 保険外診療収入	11,574	11,608	100.3
3. その他の医業収入	1,368	2,218	162.1
II 変動費	17,682	21,258	120.2
材料費	14,770	18,195	123.2
検査委託費	2,912	3,063	105.2
III 限界利益	105,548	107,080	101.5
IV 医業費用	99,918	100,328	100.4
1. 人件費	65,313	67,365	103.1
(うち役員報酬)	(32,743)	(34,709)	106.0
2. その他固定費	34,605	32,963	95.3
減価償却費	3,791	4,352	114.8
地代・家賃	7,674	7,722	100.6
研究研修費	309	309	100.0
保険料	3,247	3,349	103.1
接待交際費	1,230	1,219	99.1
その他経費	18,354	16,012	87.2
V 医業利益	5,630	6,752	119.9

## 1 | 収益性 対前年度比較分析

### (1) 医療法人経営の全体動向と利益状況

平成 24 年における医療法人の経営実績は、全医療法人平均で増収増益となりました。保険外診療収入は前年並みながら、保険診療収入とその他の医業収入は増加しています。

また、対前年比 4.1%、月平均 426 千円の増収となった一方、変動費は 20.2%増加していますが、医業費用は 0.4%の増加にとどまりました。これは、各診療所でコスト削減に取り組んでいる成果といえます。

#### ■限界利益・医業利益・経常利益

(単位：千円)

	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
限界利益	105,548	107,080	101.5
医業利益	5,630	6,752	119.9
経常利益	7,422	8,929	120.3

限界利益、医業利益、経常利益いずれも増加しています。

増収による限界利益の増加に加え、コスト削減の効果により、医業利益・経常利益ともに増加する結果となりました。

#### ◆医業収入・費用および利益の状況

##### ● 医業収入

対前年比 4.1%の増加、金額にして 5,108 千円の増収となりました。保険外診療収入、いわゆる自由診療収入は、ほぼ前年並みとなっています。

##### ● 変動費・医業費用

変動費は対前年比 20.2%の増加となっています。材料費と検査委託費はいずれも増加しています。

医業費用は、対前年比 0.4%の増加となっています。

人件費は 3.1%の増加、役員報酬は 6.0%の増加となっています。

##### ● 医業利益

平成 24 年の平均医業利益は、6,752 千円であり、対前年対比 19.9%の増加という結果になりました。

## 2 | 医業収入 対前年増減比較分析

### (1) 医業収入対前年比較

医業収入は、前年対比 4.1%の増加となりました。内訳をみると、保険外診療業収入は前年並みでしたが、保険診療（4,224 千円増）、その他の医業収入（850 千円増）はともに増加しています。

（単位：千円）

	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
医業収入合計	123,230	128,338	104.1
保険診療収入	110,288	114,512	103.8
保険外診療収入	11,574	11,608	100.3
その他医業収入	1,368	2,218	162.1

### (2) 医業収入分析

#### ● 医業収入

内訳をみると、保険外医業収入は前年並みでしたが、保険診療（4,224 千円増）、その他の医業収入（850 千円増）はともに増加しています。

### (3) 医業収入額による医療法人の分類と割合 前年増減比較

医業収入をその金額によって7段階に区分し平均額を算出しました。下記表のとおり、3億円以上の医業収入を上げている診療所が大きく伸び、2.5億円以上3億円未満の診療所が、続いて収入を伸ばしているという結果となりました。

（単位：千円）

医業収入区分	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
	平均額	平均額	
3 億円以上	325,534	338,826	104.1%
2.5 億円以上 3 億円未満	272,987	276,561	101.3%
2 億円以上 2.5 億円未満	221,297	223,238	100.9%
1.5 億円以上 2 億円未満	170,925	171,272	100.2%
1 億円以上 1.5 億円未満	124,102	125,289	101.0%
5 千万円以上 1 億円未満	80,546	80,320	99.7%
5 千万円未満	32,628	31,873	97.7%

### 3 | 医業費用 対前年増減比較

#### (1) 医業費用対前年比較

##### ① 変動費（医薬品・医療材料費）

（単位：千円）

	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
変動費合計	17,682	21,258	120.2
変動費率	14.3%	16.5%	—
材料費	14,770	18,195	123.2
検査委託費	2,912	3,063	105.2

##### ② 人件費・役員報酬

（単位：千円）

	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
人件費合計	65,313	67,365	103.1
役員報酬	32,743	34,709	106.0

##### ③ その他医業費用

（単位：千円）

	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
固定費合計	34,605	32,963	95.3
減価償却費	3,791	4,352	114.8
地代・家賃	7,674	7,722	100.6
その他経費	18,354	16,012	87.2

#### (2) 医業費用分析

##### ● 変動費（材料費・検査委託費）

平均 21,258 千円、対前年比で 20.2%増加しています。内訳は、材料費が 23.2%、検査委託費は 5.2%増となりました。

##### ● 人件費

平均 67,365 千円、対前年比 3.1%の増加となっています。うち役員報酬は 6.0%の増加であるものの、スタッフの給与の伸びは 0.3%にとどまっています。

##### ● その他医業費用

平均 32,963 千円、対前年比 1,642 千円（4.7%）の減少となっており、コスト削減に努めていると予測されます。

個別に抽出した科目の中では、保険料が対前年比 3.1%の割合で増加しています。

## 2・平成 24 年 優良法人の経営実態

\*分析母体：診療所（医療法人 147 件）の平成 24 年の決算データのうち、医業収入上位 20%（29 件）を抽出し、優良法人として経営データを集計した。

### ■平成 24 年 優良法人比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
I 医業収入	222,657	232,753	104.5
1. 保険診療	202,387	210,862	104.2
2. 保険外診療収入	18,127	19,508	107.6
3. その他の医業収入	2,143	2,383	111.2
II 変動費	42,271	47,937	113.5
材料費	35,576	40,840	114.8
検査委託費	6,695	7,097	106.0
III 限界利益	180,386	184,816	102.4
IV 医業費用	165,958	168,494	101.6
1. 人件費	111,161	114,077	102.6
（うち役員報酬）	(50,140)	(53,270)	106.2
2. その他固定費	54,797	54,417	99.3
減価償却費	7,360	7,237	98.3
地代・家賃	11,161	10,910	97.8
研究研修費	369	374	101.4
保険料	4,195	4,819	114.9
接待交際費	2,797	1,894	67.7
その他経費	28,915	29,183	100.9
V 医業利益	14,428	16,322	113.1

## 1 | 収益性 優良法人の経営状況

### (1) 優良法人の全体的経営動向と利益状況

平成 24 年診療所経営実績をみると、全法人平均では増収増益でした。医業収入上位 20% の優良法人でも、同様に増収増益となっています。

医業収入は全法人における増加幅 4.1% よりも若干上回り、4.5% の増加となっています。変動費は前年比 3.5% 増、また限界利益は同 2.4% の増加となりました。

医業費用は、人件費が 2.6% の増加、その他固定費は 0.7% の減少となりました。

#### ■ 限界利益・医業利益・経常利益

(単位：千円)

	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
限界利益	180,386	184,816	102.4
医業利益	14,428	16,322	113.1
経常利益	14,547	17,504	120.3

利益の状況は、各診療所におけるコスト削減の取り組みが継続して実施され、優良法人においても、これらの取り組みが効果を上げたと考えられます。

- 医業収入は対前年比 4.5% 増加し、金額にして 10,096 千円の増収となりました。内訳をみると、保険診療収入が前年比 4.2% の増加となった一方、自由診療収入は 7.6%、その他の医業収入は 11.2% の増加となっています。
- 変動費は、対前年比 13.5% 増となっています。材料費が 14.8% 増加、また検査委託費は 6.0% 増加しています。
- 医業費用は、対前年比 1.6% 増加ながら、金額では 2,536 千円の減少となりました。固定費削減の取り組みなどによりその他固定費が減少し、人件費（役員報酬含む）の増加分を吸収できたといえます。
- 医業利益は、対前年比 13.1% の増加、金額にして 16,322 千円（前年比 1,894 千円増）で増益となりました。

## 2 | 医業収入 優良法人の経営状況

### (1) 優良法人 医業収入対前年比較

(単位：千円)

	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
医業収入合計	222,657	232,753	104.5
保険診療収入	202,387	210,862	104.2
保険外診療収入	18,127	19,508	107.6
その他医業収入	2,143	2,383	111.2

### (2) 医業収入分析 優良法人(医業収入上位 20%)

- 医業収入は 232,753 千円 (対前年比 104.5%) であり、前年に比べ 4.5% の増収となりました。
- 医業収入の内訳をみると、保険診療収入が 210,862 千円 (対前年比 104.2%)、保険外診療収入は 19,508 千円 (同 107.6%)、その他医業収入が 2,383 千円 (同 111.2%) といずれも増加しています。

## 3 | 医業費用 優良法人の実態

### (1) 優良法人 医業費用対前年比較

#### ① 変動費 (材料費・検査委託費)

(単位：千円)

	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
変動費合計	42,271	47,937	113.5
変動費率	19.0%	20.6%	—
材料費	35,576	40,840	114.8
検査委託費	6,695	7,097	106.0



## ②人件費・役員報酬

(単位：千円)

	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
人件費合計	111,161	114,077	102.6
役員報酬	50,140	53,270	106.2

## ③その他医業費用

(単位：千円)

	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
その他固定費合計	54,797	54,417	99.3

## (2)優良法人 医業費用分析

## ●変動費

平成 24 年優良法人平均で、47,937 千円（対前年比 13.5%増）となりました。  
材料費は増加（対前年比 5,264 千円、14.8%増）となり、検査委託費は、6.0%増加しています。

## ●人件費

平成 24 年優良法人平均で、114,077 千円（対前年比 2.6%増）となりました。  
収入対比の人件費率では、平成 24 年分 49.0%で前年から 0.9%の減少となりました。  
役員報酬の平均は、平成 24 年 53,270 円（前年から 6.2%増）、売上対比における役員報酬の占める比率も同 24 年 22.9%（同 0.4%）増と若干の増加がみられます。

## ●その他医業費用

固定費の合計は、平成 24 年優良法人平均で 54,417 千円（対前年比 0.7%減）という実績となりました。優良法人においても、コスト削減などに向けた取り組みにより、改善の成果が表れています。

個別に抽出した接待交際費が、前年対比マイナス 32.3%となっていることから、コスト削減の取り組み推進が実践されたと推測されます。

## 3・平成 24 年 診療所経営指標分析

\*分析母体：診療所（医療法人 146 件）の平成 24 年決算データを集計し、全診療所平均分析の対象とした。この平均値を用いて、平成 23 年度分析結果と比較している。

### ■平成 24 年比較貸借対照表 全診療所平均

（単位：千円）

資産の部		負債の部	
	全診療所平均		全診療所平均
<b>【流動資産】</b>	50,995	<b>【流動負債】</b>	19,473
現金・預金	30,336	買掛金	3,150
医業未収金	15,706	その他	16,323
その他	4,953	<b>【固定負債】</b>	21,999
<b>【有形固定資産】</b>	22,420	長期借入金	17,201
<b>【無形固定資産】</b>	4,972	その他	4,798
<b>【その他の資産】</b>	19,266	<b>負債合計</b>	41,472
		<b>資本の部</b>	
			全診療所平均
		<b>【出資金】</b>	7,957
		<b>【資本剰余金等】</b>	48,224
<b>固定資産計</b>	46,658	<b>資本合計</b>	56,181
<b>資産合計</b>	97,653	<b>負債・資本合計</b>	97,653

## 1 | 収益性分析 前年対比

		平成 23 年度	平成 24 年度	増 減
収益性	総資本経常利益率 (%)	7.9%	9.1%	1.2%
	医業収入医業利益率 (%)	4.6%	6.9%	2.3%
	医業収入経常利益率 (%)	6.1%	7.0%	0.9%
	総資本回転率 (回)	1.7 回	1.3 回	△0.4 回

## ■ 指標計算式

指標名	目的	計算式
総資本経常利益率	資本を使ってどれだけ効率的に利益を上げたかを見る	経常利益 ÷ 総資本 × 100 (%)
医業収入医業利益率	医業活動における利益を医業収入で除した指標	医業利益 ÷ 売上高 × 100 (%)
医業収入経常利益率	医業利益に医業外損益を加えた経常利益を医業収入で除したもの	経常利益 ÷ 医業収入 × 100 (%)
総資本回転率	資本の何倍の医業収入があるかを見る	医業収入 ÷ 総資本

## ■ 収益性分析コメント

## ● 総資本経常利益率

平成 24 年度の実績は前年比 1.2%増加しており、診療所全体の経営効率は若干向上しています。

## ● 医業収入医業利益率・医業収入経常利益率

総資本経常利益率と同様に、医業利益・経常利益の前年比増によって、いずれも向上していますが、総資本回転率の低下を医業利益率で吸収した形です。

## ● 総資本回転率

医業収益が伸びたにもかかわらず、前年と比べ、資本回転率が低下した原因を把握する必要があります。

## 2 | 生産性分析 前年対比

		平成 23 年度平均	平成 24 年度平均	増 減
生産性	限界利益率 (%)	86.2%	83.4%	△2.8%
	1 人当たり医業収入/月 (千円)	1,070 千円	1,030 千円	△40 千円
	1 人当たり限界利益/月 (千円)	916 千円	866 千円	△50 千円
	1 人当たり人件費/月 (千円)	485 千円	545 千円	60 千円
	労働分配率 (%)	52.9%	62.9%	10.0%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
限界利益率	医業収入から変動費（外部購入費用）を控除した限界利益（付加価値）の医業収入に対する比率	限界利益 ÷ 医業収入 × 100（%）
一人当たり医業収入	一人当たりの医業収入の効率を見る	（医業収入 ÷ 従業員数） ÷ 12 ヶ月
一人当たり限界利益	一人当たりの限界利益創出力を見る指標、労働生産性ともいう	（限界利益 ÷ 医業収入） ÷ 12 ヶ月
一人当たり人件費	一人当たりの総額人件費（社会保険料等の事業所負担も含めたもの）を見る	（総額人件費 ÷ 従業員数） ÷ 12 ヶ月
労働分配率	限界利益に占める人件費の割合を見る	総額人件費 ÷ 限界利益 × 100（%）

■生産性分析コメント

●限界利益率

前年よりも若干低下しており、成長性はやや停滞状況にあるようです。

●一人当たりの売上高（医業収入）・一人当たり限界利益

いずれも前年度より減少となっています。人件費全体の増加が、医業収入と限界利益の伸びとほぼ均衡となる割合であったこと等が理由として考えられますが、労働生産性の向上が課題になります。

●一人当たり人件費

人件費全体の増加に伴い、1人当たりの金額も増加しています。

●労働分配率

労働生産性の低下と人件費増加により、前年より 10%増となりました。

3 | 安全性分析 前年対比

		平成 23 年度分析	平成 24 年度平均	増減
安全性	流動比率（%）	337.4%	261.9%	△75.5%
	当座比率（%）	316.4%	236.4%	△80.0%
	固定比率（%）	65.2%	83.0%	17.8%
	固定長期適合率（%）	63.6%	59.7%	△ 3.9%
	自己資本比率（%）	55.3%	57.5%	2.2%

## ■指標計算式

指標名	目的	計算式
流動比率	短期的な債務返済能力を見る	流動資産 ÷ 流動負債 × 100(%)
当座比率	流動資産の中で特に換金性の高い当座資産による短期返済能力を見る	当座資産 ÷ 流動負債 × 100(%)
固定比率	固定資産が自己資本でどれだけ調達できているかを見る	固定資産 ÷ 自己資本 × 100(%)
固定長期適合率	固定資産が自己資本と長期負債でどれだけ調達できているかを見る	固定資産 ÷ (自己資本 + 長期負債) × 100(%)
自己資本比率	総資産に占める自己資本(純資産)の割合を見る	自己資本 ÷ 総資産 × 100(%)

## ■安全性分析コメント

### ●流動比率・当座比率

前年からは低下したものの、高い数値を示しており、引き続き高い短期的な債務返済能力を有していると評価できます。

### ●換金可能な資産による債務返済能力は高く、また固定長期適合率も望ましい水準となっています。

### ●自己資本比率

他業種と比較して高い水準を維持しており、財務体質は健全な状況であるといえます。

## 4 | 成長性分析 前年対比

		平成 23 年度平均	平成 24 年度平均
成長性	医業収入増加率 (%)	△0.3%	4.1%
	限界利益増加率 (%)	△0.8%	1.5%
	医業利益増加率 (%)	5.9%	19.9%
	経常利益増加率 (%)	9.5%	20.3%
	自己資本増加率 (%)	1.6%	1.5%

## ■成長性分析コメント

- 平成 24 年度実績による分析結果では、成長性に関する指標がいずれもプラスとなりました。前回調査は減収増益であり、減収分をコスト削減でカバーした形でした。今回調査では、収入の増加に加え、コスト削減の取り組みが継続的に実施されたことによって、前年実績を上回ったと考えられます。